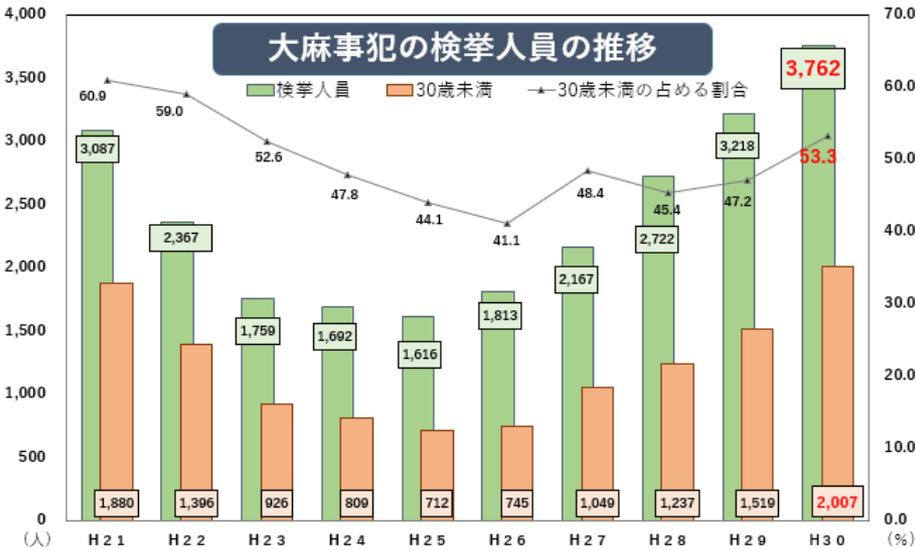


# 薬物乱用防止対策

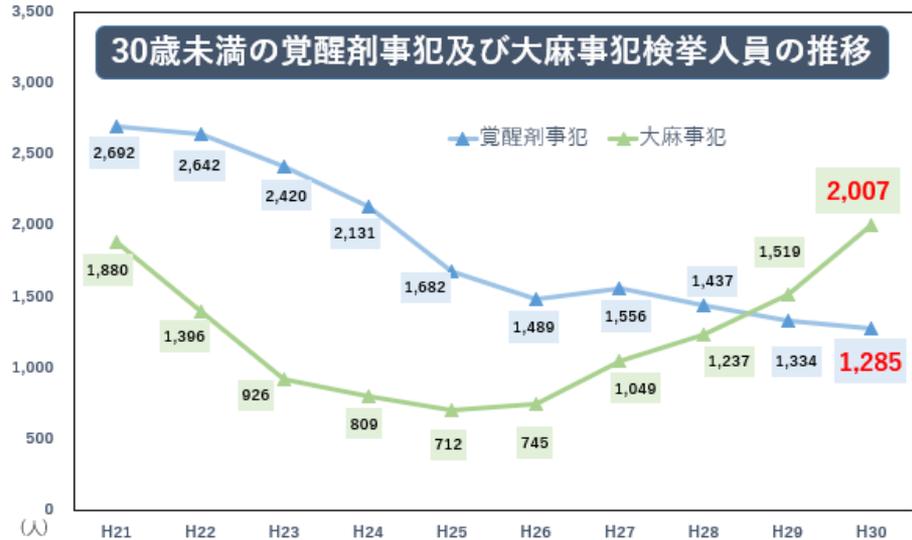
 厚生労働省 

# 若年層向け広報・啓発①（情勢）

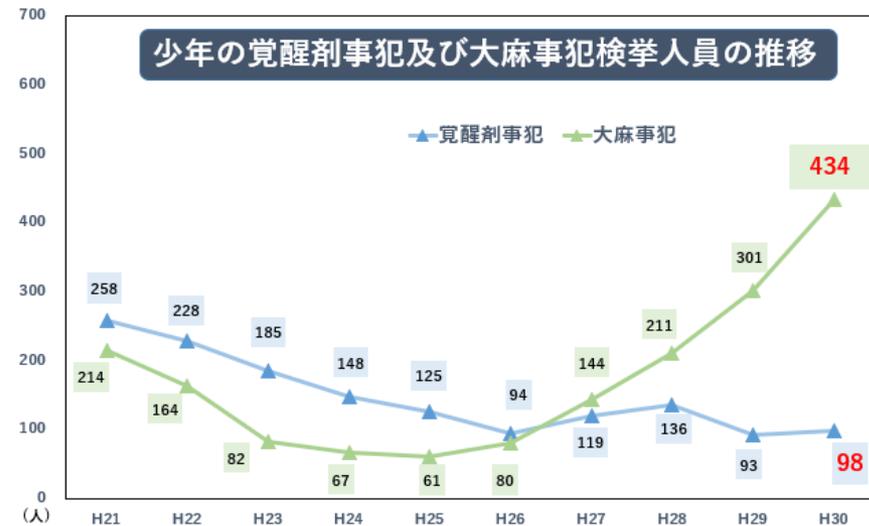
## 大麻事犯の検挙人員の推移



## 30歳未満の覚醒剤事犯及び大麻事犯検挙人員の推移



## 少年の覚醒剤事犯及び大麻事犯検挙人員の推移



## 20歳代の覚醒剤事犯及び大麻事犯検挙人員の推移



# 若年層向け広報・啓発②（全国中学生意識・実態調査）

図3. いずれかの薬物乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、1996-2018年)

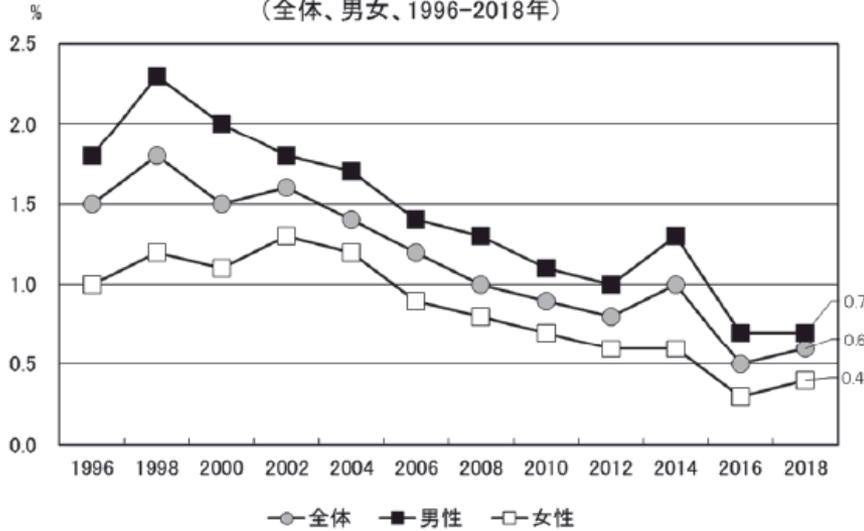


図6. 大麻乱用の生涯経験率の推移  
(全体、男女、1996-2018年)

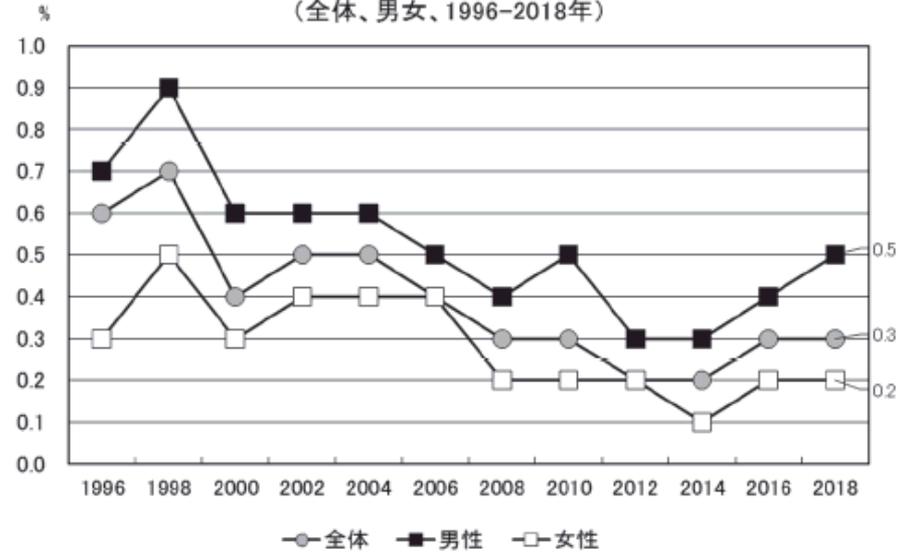
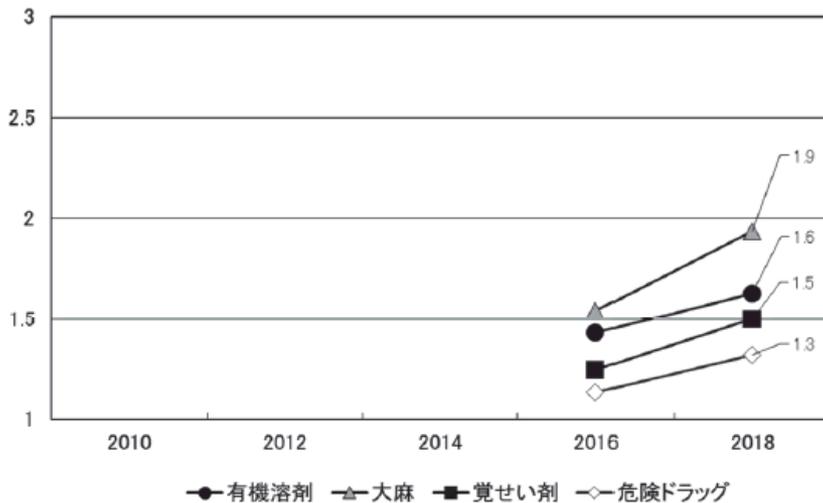


図22. 薬物乱用についての考えの推移(2016-2018年)

※「少々ならかまわない」「まったくかまわない」と回答した者の全体



出典: 厚生労働科学研究

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

「飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査」

<https://www.ncnp.go.jp/nimh/yakubutsu/report/index.html>

# 若年層向け広報・啓発③（取組）

## 薬物乱用防止啓発読本

小学校6年生保護者向け

高校卒業予定者向け

青少年向け

対象年齢に応じた3つの薬物乱用防止啓発読本を作成・配布。

配布部数：合計約290万部  
(平成30年度)



## SNSを通じた啓発の推進

### 【薬物乱用防止啓発訪問事業】

Twitter

Facebook



<https://twitter.com/StopTheDrug>

<https://www.facebook.com/stoppedrug>

### 【あやしいヤクブツ連絡ネット】

Twitter



<https://twitter.com/yakubutsumhlw>

【国民的啓発運動】

(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (6月20日～7月19日)

(目的) 官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6.26国際麻薬乱用撲デー」の周知を行い、薬物乱用防止を図る。



(2) 麻薬・覚醒剤乱用防止運動 (10月1日～11月30日)

(目的) 麻薬・覚醒剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用の根絶を図る。



【訪日外国人向け注意喚起】

2020年のオリパラを見据えた訪日外国人への違法薬物持込に関する注意喚起の強化

政府目標：2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人  
(2018年の訪日外国人旅行者数3,119万人)  
※観光庁HPより

**WARNING!** 厚生労働省  
Drug smuggling, possession and use are unlawful and severely punishable by law in JAPAN

Don't even think about bringing drugs to JAPAN!

Cannabis/Marijuana/Hemp are not legal for any purpose

e.g. cookie, Butter, chocolate, pharmaceutical products made with cannabis

※1 The applicable laws and punishments vary depending on the drug. (Reference: LAA)  
Narcotics and Psychotropics Cannabis Stimulants NPS

※2 For bringing doctor-prescribed medicines to Japan, you are required to take all necessary legal procedures  
<http://www.ncd.mhw.go.jp/en/application.html>

**Attention!** 厚生労働省  
Cannabis/ Marijuana/ Hemp smuggling and possession etc... are unlawful and severely punishable by law in JAPAN

Smuggling: Imprisonment of up to 7 years  
(For the purpose of profit: up to 15 years/ Fine of up to 3 million yen)  
Possession: Imprisonment of up to 5 years  
(For the purpose of profit: up to 7 years/ Fine of up to 2 million yen)

Cannabis, Marijuana, Hemp

Examples of Cannabis Products ※  
Any products made with Cannabis are not legal for any purpose!

Cookies Butter Cake Chocolate

Electrical Cigarette Medicines

**Cannabis Control Act**  
Please refer to URL as follows  
<http://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000548648.pdf>  
<http://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000548663.pdf>

# 麻薬取締官の取締状況

## 1. 法令別検挙件数・人員

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
覚せい剤取締法	件数	259	206	198	207	270
	人員	253	204	207	214	305
大麻取締法	件数	56	58	192	255	334
	人員	56	71	233	246	369
麻薬及び向精神薬取締法	件数	74	116	81	76	132
	人員	87	146	76	83	129
麻薬特例法	件数	30	41	24	26	16
	人員	33	55	43	27	35
あへん法	件数	0	1	0	0	1
	人員	0	1	0	0	1
医薬品医療機器法	件数	92	142	94	89	48
	人員	148	166	88	77	46
合計件数		511	564	589	653	801
合計人員		577	643	647	647	885

注1) 警察等関係取締機関との合同捜査による検挙件数・人員を含む。

注2) 麻薬取締員による検挙件数・人員を含む。

## 2. 主な薬物の押収量

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ヘロイン(kg)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
コカイン(kg)	0.1	0.1	0.2	1.3	0.1
乾燥大麻(大麻たばこを含む)(kg)	1.6	3.6	37.8	109.7	56.8
大麻草(本)	52	402	6,279	1,819	247
大麻樹脂(kg)	0.1	0.0	0.3	0.2	0.1
あへん(g)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
覚醒剤(kg)	86.6	2.0	932.9	827.6	41.3

注3) 警察等関係取締機関との合同捜査により押収した薬物を含む。 注

4) 覚醒剤については、粉末のみ計上。

# 乱用薬物の多様化①

## 濃縮大麻（大麻ワックス・大麻リキッド）



## 大麻含有食品例

チョコ



クッキー



グミ



バター



### ●大麻食品関連報道

- ・平成31年3月、東京荒川区のダンスイベントで、参加者が持ち込んだ大麻入りチョコレートを食べた50代から80代の男女7人がめまいや手足のしびれを訴え、病院に搬送された。
- ・筑波大の大学院生2人が、大麻を混ぜたクッキーを食べるなどしたとして停学処分を受けた。（平成31年4月報道）

## コカイン

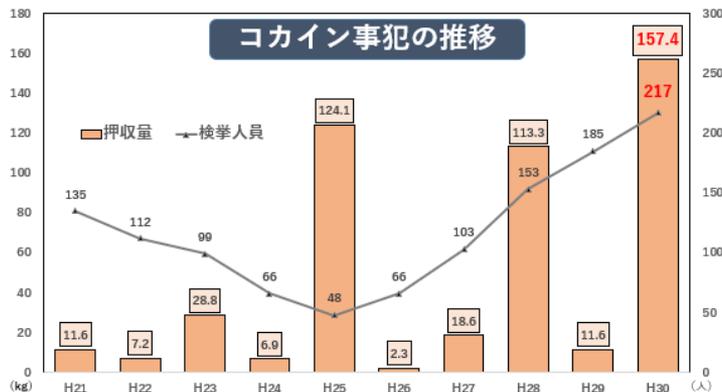


### ● 国際情勢

- ・近年、世界におけるコカイン押収量は増加傾向。
- ・2017年、コカインの主要な生産国であるコロンビアではコカの木の栽培・コカインの製造量が過去最多となった。

### ● 我が国のコカイン情勢（平成30年）

- ・検挙人員は217人、押収量は157.4kgといずれも過去最多。



## MDMA

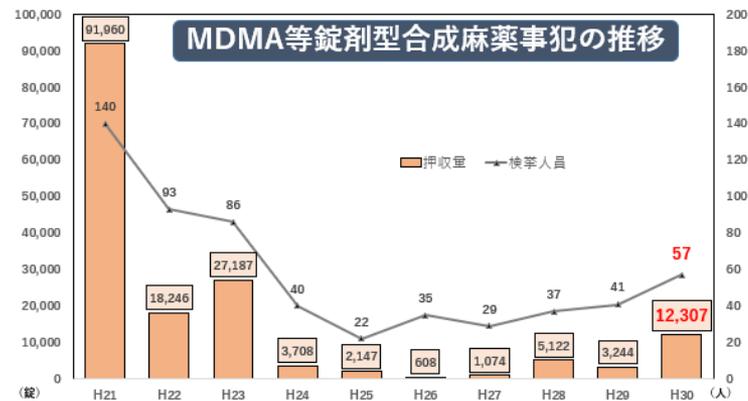


### ● 国際情勢

- ・近年、世界におけるMDMAの押収量は増加傾向。
- ・近年、世界におけるMDMAの密売取引が増加傾向

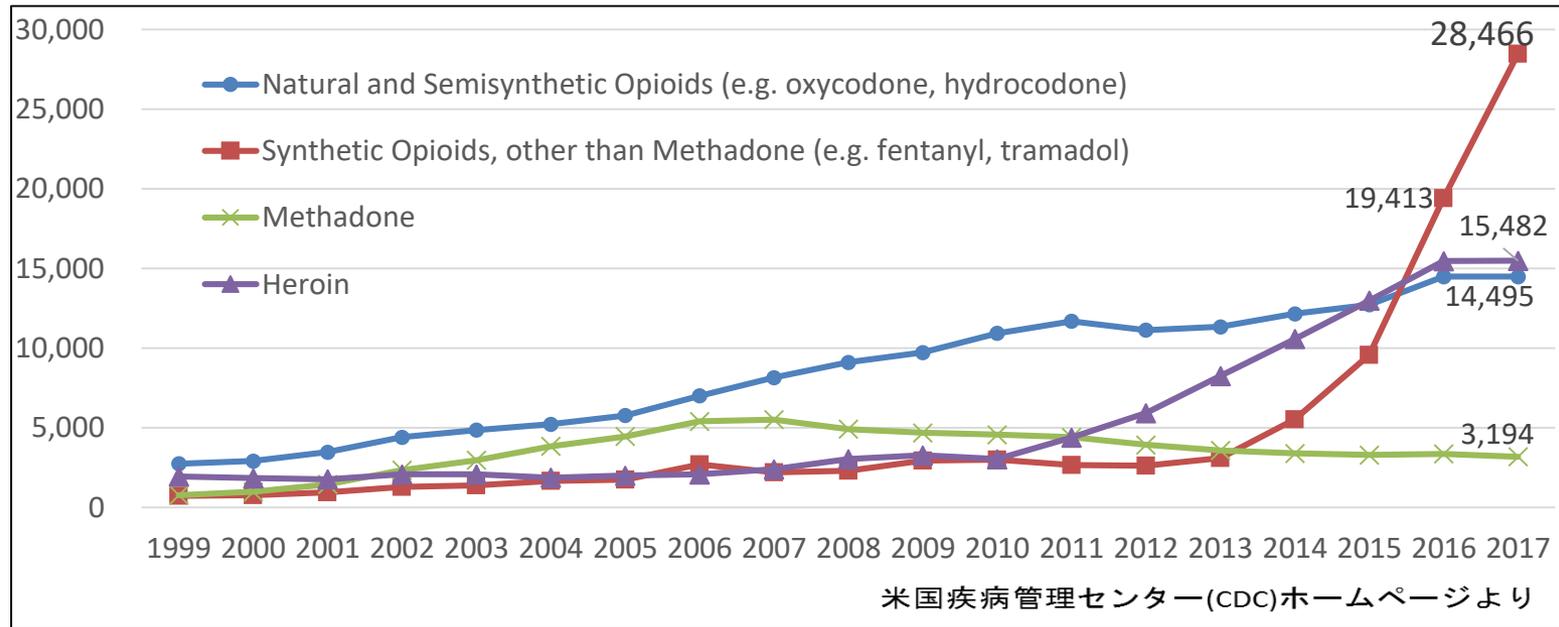
### ● 我が国のMDMA等錠剤型麻薬情勢（平成30年）

- ・検挙人員は4年連続増加
- ・押収量は7年ぶりに1万錠超え



# 未規制物質の規制①（背景と対策）

## アメリカにおけるオピオイド関連死亡者数の推移



### 乱用防止製剤の開発依頼

医薬品製造販売業者に対し、乱用防止製剤（医療用麻薬）の製造開発及び製剤の改良を依頼

#### <乱用防止製剤の特性例>

- ・物理的抵抗性の付与  
製剤のかみ砕き、押し潰し、切断、すり潰し、粉碎を防止するもの。
- ・化学的抵抗性の付与  
ゲル化等により、水等の溶媒による麻薬成分の抽出を防止するもの。
- ・有効成分に対する拮抗成分の配合  
拮抗薬の添加により、多幸感など乱用の目的となる効果を妨げ、減少し、又は打ち消すもの。

# 未規制物質の規制②（規制例）

## ●今年度指定したオピオイド関連物質

指定薬物	通称名	公布日	施行日	
	Cyclopentylfentanyl	R1.8.29	R1.9.8	
麻薬	通称名	公布日	施行日	指定薬物指定日
	Cyclopropylfentanyl	R1.6.28	R1.7.28	H30.11.14
	2-Fluorofentanyl、 o-Fluorofentanyl、 2-FF、 o-FF	R1.6.28	R1.7.28	H31.2.18
	4-FBF、 p-FBF para-fluorobutyrylfentanyl、 p-fluorobutyrylfentanyl	R1.6.28	R1.7.28	H27.11.27
	Methoxyacetylfentanyl	R1.6.28	R1.7.28	H30.6.20

## ※LSD関連物質（今年度国内押収事例あり）

指定薬物	通称名	公布日	施行日
	1P-LSD	H28.4.8	H28.4.18

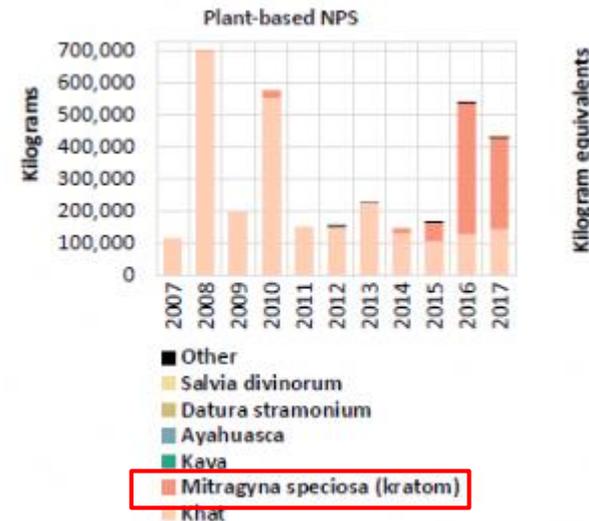
## ※植物としての指定薬物

指定薬物	規制植物	通称	公布日	施行日
	ミトラガイナ スペシオーサ（ミトラガイナ属に属する他の種との交雑種を含み、直ちに人の身体に使用な形状のものに限る）	クラトン	H28.3.9	H28.3.19



※2016年、2017年、世界で押収された植物由来のNPS（New Psychoactive Substances）の中で、**最多の押収量**を記録。（マレーシア、タイ、ミャンマーなど東南アジアが中心）

使用方法：新鮮葉を噛む、お茶にして飲む、喫煙など



Source: UNODC, responses to the annual report questionnaire.

出典：World Drug Report2019

# 医薬品医療機器法の改正（個人輸入に関する規制等の見直し）

- 薬監証明の不正取得による未承認医薬品・医療機器等の不適切な個人輸入に対応し、個人輸入の手続きの適正化を図り、健康被害の発生を防止する観点から、現在輸入監視要領（局長通知）により運用している輸入監視（薬監証明制度）の仕組みを法律上位置づける（56条の2）。
- 上記の手続き違反について薬機法に基づく指導・取締り（69条4項、70条2項）を可能にするとともに、その違反に対する罰則（84条21号）を設ける。
- また、個人輸入による未承認医薬品や偽造薬の流通などの不正事案に迅速に対処するため、輸入手続きの違反や偽造薬に関する事案を厚生労働省・都道府県に属する麻薬取締官・麻薬取締員の捜査対象に追加する（麻薬及び向精神薬取締法54条5項）。

## 現行の薬監証明制度の仕組み

